

【報告様式】

担当課・担当者	企画財政課、歴史みらい館、地域産業推進課
交付対象事業名	地方創生拠点整備交付金：歴史と未来とひとつをつなぐ「武家屋敷」定住・交流拠点プロジェクト
事業概要	<p>地方創生総合戦略のうち、空き家・空き蔵を利活用した起業支援や新規就農支援について、体験的に滞在できる施設がない状態を解消するため、これまで文化財として主に鑑賞用の施設であった町所有の歴史的建造物である武家屋敷（旧田山家住宅）において、体験宿泊及び交流事業を展開できる機能を加え、本町での起業・就農に取り組む人材の確保に努める。</p> <p>体験宿泊等事業の実施期間外には、観光部門において武家屋敷という歴史的価値を活かした本物の歴史に触れることができる観光宿泊事業や郷土料理のケータリング、屋敷の閑散期を利用してのお茶屋事業の実施、また農業を営む下級武士の居宅であった史実を踏まえ敷地内にある蔵を改築し農産物の販売を実施し、さらに武家屋敷を所有していた田山家では第3代村田町長である田山孫八氏や昭和の海洋学者であり我が国サンゴ礁研究の権威である田山利三郎理学博士という郷土の名士を数々輩出していることから、建物・敷地を利用し教育分野における事業も今後展開していくなど、改修施設において多くの地方創生事業を組み合わせ、移住定住の推進を図っていく。</p>

本事業における重要業績評価指数（KPI）に関する成果及び検証

定住促進を図るには、町内の魅力を体験宿泊等の利用を通し、暮らし方を体感できることが第一と考える。さらに観光宿泊により交流人口の増を図ることで、町の魅力を町内外に発信・伝播することができ、定住希望者の増が図られることから、拠点施設の利用者数をKPIとして設定している。

また、武家屋敷において観光等を含めた様々な事業展開により、施設への集客力が上がることで事業者の参入機会が増え、地域への収益性や還元性も増し、また施設の効率化が図られる。平成30年度より指定管理者制度での宿泊事業を展開している。

本事業における重要業績評価指標（KPI）	平成29年度 目標／実績	今年度 目標／実績	今年度事業の成果及び検証とその根拠について
武家屋敷お試し居住及び観光宿泊利用者数	目標 0人 実績 0人	目標 50人 実績 35人	8団体 35人
移住・定住者数	目標 30人 実績 32人	目標 50人 実績 50人	平成30年度定住者数 50人 ※定住促進事業補助金交付世帯調査
収益事業参加者（団体）数	目標 0件 実績 0件	目標 10件 実績 4件	4団体 96人

村田町地方創生推進委員会からの意見

- 施設運営が始まったばかりで武家屋敷の宿泊・利用者が出てきているが、今後も創意工夫を図りながら、利用者増となるよう努めていただきたい。